

△一事一言▽

俄然の西露時報

休戦提議

俄然

七月九日に勃發した、ブラジルの革命は、其の名目は護憲運動であり、其の意氣は天を衝くの概ありし爲め、一ヶ月を出でて終局を見るならんと、吾人共に豫想せし處であつたがそれは事實に反し、一ヶ月は二ヶ月となり、二ヶ月は二ヶ月半となつても終燃に至らず、殆んど三ヶ月に近き去月二十九日に漸く戰闘行爲停止を見るに至つた。

此の停戦は、二十九日午前一時の真夜中に、護憲軍の司令官クリンゼル將軍からゼツリオ・ヴァルガス大統領宛「國民に對し是れ以上生命財産の犠牲を拂はしめざるの目的を以て、護憲司令官は全線に亘る即時戰闘行爲の停止を提議し、戰争の終燃方の就き方策を講せんとする」と、發電したるに端を發し、ゼツリオ・大統領から「貴電接受、貴官の提議はゴーニス・モンテイロ將軍に委細傳達す、貴官の軍使を同將軍のもとに派遣し、聯邦軍代表者ワルドミオ將軍と交渉を爲し、戰闘行爲の停止方に就き必要な方策を協議せられし」と、クリンゼル司令官宛の返電に依てそれが行はれた。なほ、クリンゼル護憲軍司令官をして、停戦提議の決意を爲さしめたる動機は、サンパウロ州民に最も關係の深い某國大使が下僚を通うじて、同司令官に耳打せしめたことが重きを爲したと噂されてゐるが、それには暫く別問題として、クリンゼル護憲軍司令官が、剰下の形を觀て取り、對內的に將た對外的に、是れ以上戰闘を繼續することは、ブラジル全體に取り利させる處から戰闘を停止し、戰闘以外の方法で時局を收拾し、終局を見るならんと、吾人共に豫想せし處であつたがそれは事實に反し、一ヶ月は二ヶ月となり、二ヶ月は二ヶ月半となつても終燃に至らず、殆んど三ヶ月に近き去月二十九日に漸く戰闘行爲停止を見るに至つた。

此の停戦は、二十九日午前一時の真夜中に、護憲軍の司令官クリンゼル將軍からゼツリオ・ヴァルガス大統領宛「國民に對し是れ以上生命財産の犠牲を拂はしめざるの目的を以て、護憲司令官は全線に亘る即時戰闘行爲の停止を提議し、戰争の終燃方の就き方策を講せんとする」と、發電したるに端を發し、ゼツリオ・大統領から「貴電接受、貴官の提議はゴーニス・モンテイロ將軍に委細傳達す、貴官の軍使を同將軍のもとに派遣し、聯邦軍代表者ワルドミオ將軍と交渉を爲し、戰闘行爲の停止方に就き必要な方策を協議せられし」と、クリンゼル司令官宛の返電に依てそれが行はれた。なほ、クリンゼル護憲軍司令官をして、停戦提議の決意を爲さしめたる動機は、サンパウロ州民に最も關係の深い某國大使が下僚を通うじて、同司令官に耳打せしめたことが重きを爲したと噂されてゐるが、それには暫く別問題として、クリンゼル護憲軍司令官が、剰下の形を觀て取り、對內的に將た對外的に、是れ以上戰闘を繼續することは、ブラジル全體に取り利させる處から戰闘を停止し、戰闘以外の方法で時局を收拾し、終局を見るならんと、吾人共に豫想せし處であつたがそれは事實に反し、一ヶ月は二ヶ月となり、二ヶ月は二ヶ月半となつても終燃に至らず、殆んど三ヶ月に近き去月二十九日に漸く戰闘行爲停止を見るに至つた。

此の停戦は、二十九日午前一時の真夜中に、護憲軍の司令官クリンゼル將軍からゼツリオ・ヴァルガス大統領宛「國民に對し是れ以上生命財産の犠牲を拂はしめざるの目的を以て、護憲司令官は全線に亘る即時戰闘行爲の停止を提議し、戰争の終燃方の就き方策を講せんとする」と、發電したるに端を發し、ゼツリオ・大統領から「貴電接受、貴官の提議はゴーニス・モンテイロ將軍に委細傳達す、貴官の軍使を同將軍のもとに派遣し、聯邦軍代表者ワルドミオ將軍と交渉を爲し、戰闘行爲の停止方に就き必要な方策を協議せられし」と、クリンゼル司令官宛の返電に依てそれが行はれた。なほ、クリンゼル護憲軍司令官をして、停戦提議の決意を爲さしめたる動機は、サンパウロ州民に最も關係の深い某國大使が下僚を通うじて、同司令官に耳打せしめたことが重きを爲したと噂されてゐるが、それには暫く別問題として、クリンゼル護憲軍司令官が、剰下の形を觀て取り、對內的に將た對外的に、是れ以上戰闘を繼續することは、ブラジル全體に取り利させる處から戰闘を停止し、戰闘以外の方法で時局を收拾し、終局を見るならんと、吾人共に豫想せし處であつたがそれは事實に反し、一ヶ月は二ヶ月となり、二ヶ月は二ヶ月半となつても終燃に至らず、殆んど三ヶ月に近き去月二十九日に漸く戰闘行爲停止を見るに至つた。

休戦提議に端を發し俄然！時局急變す

は暫く別問題として、クリンゼ又、右の提議に應じ、戦闘を停の時ル諸軍司令官が、剩下の形勢止して必要な方策を協議せんのを觀て取り對的に將た對外的には、是以上戦闘を繼續する領も、クリンゼ將軍と同様なことは、ブラジル全體に取り不る意思を以て、現在の擾亂を一利とする處から戦闘を停止し、日も早く平和に復歸せしめんとするは明かなる事項ではあるが、戦闘以外の方法で時局を收拾せんとすることが、明瞭である。然らば確と條件は双方の考ふるなり

山東雨露時報

本紙週二回發行
所行號
四街一六六六七〇 電話三五八九
郵局H
總售處
市府第一大樓
新嘉坡西爾時報社

如く單簡に折合が着き、直ちに兵を撤して平和に克復し得るかと云ふに、護憲軍の軍事が交渉の結果署名を拒んで開聖し、聖州政府は總辭職して政權の軍隊に移つた處を見ると、愈々平和に移つた處を見ると、愈々平和

出發指定の地點には五六時間前後にて到着の見込、軍使は本軍の參謀長ダイエフ・ペラ中佐、出發時刻確定次第改めて通知すべし。

二、鹿市陸軍軍司令部氣付

タリヤー等將官氏

本官は法相メーロンコ氏より、中央政府は兩軍機司令官の間に協定な見るべき戦体の承認及び憲法政治即時復元に對し十分の用意ある旨の通知を接により、

夜半の外出、街頭に於ける集会等の禁止、酒類の販賣を禁じ、異管百姓の維持に努むる所あり、更に、

市内各新聞社の代表を招致して

毒印案上

再度更迭を見

出發指定の地點には五六時間前後にて到着の見込、軍使は本軍の參謀長ダイエラ・マフ中佐、出發時刻確定次第改めて通知すべし
三、中央軍參謀長　申央軍參謀長　メンナ・バーレット
クリンゼル將軍領付
本官は法相メーロ・フランコ氏より、中央政府は兩軍總司令官の間に協定を見たるべき休戦の承認及び憲法政治即時確立に關し十分の用意ある旨の通知を接受せり

が任命されその就任を見た。大佐は直ちに市民に對し布告を發し、市民各自の自重を要望し、夜半の外出、街頭に於ける集会談論、酒類の販賣を禁じ與管殊序の維持に努むる所あり、更に市内各新聞社の代表を招致してその就任理由を發表し只單に聖市の治安維持につき緊急の必要より就任せる旨を述べ此の意味に於て市民一般の協力を期待するものであるとして言論機關の諒解と協力を希望する所があつた。

尙之と同時に特別高等課長アダベルト・デ・パロス氏辭職しヨゼ・デ・サウザ・カルヴァーリオ大尉後任を命ぜられたが、其他には異動を見なかつた。

之と同時に移民收容所、少年保護所、消防署、警察分署等に留意されて居た政治犯人は全部釋放されたが、之が爲め市中の人心に多少の動搖を見たが警戒機場の重要を極めた爲め何事も起らずして済んだ。

護憲軍司令官クランセル將軍は是れ以前國民の生命財産を犠牲にするに忍びず中央臨時政府に對し戰闘行為の即時停止を要求したが、政府はこれを許さんとするに至れるを以て書面で抗議せんとするが爲め、上層部及び政府當局の努力に信頼せらるべき方策を講ぜんとするが爲め、州政府は休戦の協定を終り和平回復のため交渉する交渉成立する迄その地位に止まるものである。

州政府

民衆に告ぐ

禁されて居る、氏がボルト・レダグレ港出港に際し氏を奪はれたるも
カルヴァリオ大佐がエルクラン・ベラード・ド・ペーロー大佐に移譲され
結果十月二日州警視監署に提出し同時にその後任につく
警兵隊士官中より説衡される事となり午後六時エドガルド・
ルモンド少佐の任命就任を同時に特別高等課長も更迭され
七司法區警察署長たりしウーリオ・タヴァルダ大佐は辭職
アグリツビーノ氏が轉補されモラトリアムを樹するの運を
臨時に紙に旨意を記すと報道してゐる。

涙なくては讀まれぬ 母國の農村實話

働いても働いても食つて行けない農家の現状

筆者は二年程前「世界的な不況」だ
へすれば完全に云つても、ブラジルは土地に
親しみさへするなら、食つて行くには絶対に困まらぬから、日本政府は農村救済の一歩として
貧農者をアラジルし移住せしむべく努力せよ」と書いた處が、
云ふても毫も誇大の言ではない、現に今
年の如きは不景氣であり、革命

在東京、伯國關係の先輩から、「ラジル移住獎勵」にラジルへ行きさへすれば食ふに困まらぬ丈では不徹底だ、食ふだけなら日本に居つて食へる、一家族三四千圓も掛けて渡伯せしむる者には、もつと強い大なる意義がなくてはならぬ、なぜ其の點に吹くべく力めぬか」と

が、有利有希望なる事を説示して母國策の一題下に、「ラジル發展の実話」中の二、三ヶ所を轉載して見れば、福島縣の中田仲男の名を以て「生きんが爲めに節操も賣られる」と題する一文の中に左の如きがある。

(前略) 如何に働いても作つた製品は原料代よりも安いとは何事でありませう。その爲めに、昨日の荒物市場は何時からとはなしに、雜物市場とかはつてしまつて、荒物の數はすつかり姿を消して、農産物や、家具や、呉服類や、セト物類の投資り場となつてしまひました、凡ゆる商人と百姓とが可なりの遠方から參ります、就中人目を引くのは百姓が柱時計、昔の膳桶類、古い着物類を持出しては人前を避けるが如く、隠れて賣つてゐる事であります、貧乏の呑底へ落ちたとはいへ、多少名譽や地位を考へてゐるだけ猶は不憫ではありますか、貧乏とは云へ、それでも名譽や地位を考へてゐるうちにはまだ樂な方です、つぶしたくつても金がなくて潰せず、雨が漏るので降雨の度毎に寢床を次々に轉回させて行くのも慘

めだし、食ふに物なく、着るに衣なく、今はもう死の世界を覗きながら暮してゐる家庭では、只生きが爲めに名譽も地位もすつかり捨てて、一回二拾錢位ひで、しかも夫許しの淫賣を爲す農村婦女子の多くなつた事は、まことに慨歎に堪へざる次第ではあります。此の點は寧ろ死以上の苦しみであります(後略)

又、北海道の遠藤正弘なる者の投書で、「一粒の米を争つて、隣凶作、不況の嵐はさまよい勢ひで擴がつてゐる。死の幻影を追ふ疲れ切つた淺ましい人間の姿!」農夫たちは飢を凌ぐ爲めに、我が子我が親を飢から教はん爲めに、其の疲れ切つた體でなほも働きつけねばならなかつた(中略)いたづら盛りの子供たちばかりがロボロの衣服にくるまり、碎米、馬鈴薯、草木の根など、少量を空腹の中に呑み込み、辛ふじて生きてゐる、だから小供達は學校へ行くことは勿論、遊びむる元氣もなく半病人の態である。

農家の一大必要物である、たつた一匹の馬、そんなものは何處の家でも現在では殆んど無くなつてゐる、即ち町へ賣られたり、窓かに山林の奥で殺されて食用にされたり、それのみか、犬、猫までも疲れゑた農家の人々に依つて食べ盡されてゐる、若し道端を一匹の犬でも通うらうものなら、農夫や小供等は、夢中でそれを追ふ、そして捕へて皮をはぎ、肉を切りきざんで食用にする、それも醤油や砂糖などを使つてスキ焼ではない否、醤油や砂糖は使はうとも持合せがないから儘かに残つた豆殻を燃料に其の犬肉をやき、その儘腹の中へ詰め込むのだ、全く都會人の想像も出来ない程悲惨且つ浅ましい生活状態であるのである。つい先達ても、こんな事があつた、場所は空知郡春別村であつたが、此の村に住む一人の百姓が、何處からか一斗程

金民 いかの

時局遂に急變 州統領辭任す

十月二日夜半、アイアリオ・ダ・

ノイテ紙第四夕刊は俄然州統領

ペドロ・トレード氏の辭職を報

じ一大衝動を與へるに至つた

去る七月九日以來、民意によつて

州統領の位置につき議論の目的

に盡瘁して日夜を分たず、只管聖

州の爲めその最善をつくしつつ

あつた氏も太勢甚に至つては途

に桂冠するの止むなきに至つた

ものである。今報道せらるゝ所

に於て之が眞因を極力取調中下

州警兵司令官エウクラン・デ

カルヴァリオ大佐を通じ中央臨

時政府軍司令官ゴーニエス・モン

ティロ將軍の要求としてペドロ

州統領の辭職を懇請したもの

如くであった。茲に於て州統領

は未だ當地に歸着せず、從て本官は

大藏長官アルベルト・フェレ

イラ氏立會の下にカルヴァリオ

大佐に政權を譲り、官邸に留ま

し、きべドロ統領の最後の一言は

「よろしい! 今日あるは既に

承知して居た」

と傳えられてゐる

事僅かにして午後六時十五分

各省長官を伴つて退出官邸に引

揚げた。此の劇的の情景に相應は

アリヨ大佐の手に移され且之れ

したと云はれてゐるが目下當局

は未だ報せられてゐるが一説に

古賀聯隊長 櫻井忠溫氏著

錦州にて 銃劍は耕すより (五)

1 涙しつつ

新民驛を出るごと、砂の野が目

の前に開けて来た。砂、砂、砂

から砂へと大野原である。

馬賊が走り廻つてゐたところで

ある。そこに今日はたゞ一人ば

つねん立つてゐるのである。

砂原の中を走るは、室師團司

合部の乗る列車で、錦州を目指

して行くのである。

装甲列車先頭を承り、遙か彼方

を吐きつゝ走りつゝけてゐる。

列車の中の一隅に私は座り込

んだ。例の勝胱彈君と「讀賣」の

U君と共に。

列車の輸送指揮官は古賀聯隊

長で、そのガツシリした身姿、

色の白い、眼の黒々とした顔、

その軽い話さ振りが、車内に

暖かい空氣をなげた。

車窓の上に、黒い袋につ

まれておいてある。下に旗手

が両肘を膝の上に張つて、嚴然

と控へてゐる。

毛の帽子とフエルト製の大長

靴をはいた室師團長は、その凜

とした顔の筋肉の中に、人なつ

こい笑ひをみせながら、堅いシ

ートの上に腰を下してゐる。M

戸顔を洗つた。水が晒木綿の

襟が雨の若々しい赭ら顔、黄色

い襟をかけた副官たちのうひう

うい顔。

女の右側や荷馬車が砂原の中

につづく。子供を負ふてゐるの

もある。新民の町へ歸つて行く

のである。

馬賊に荒されて何處かへ逃げ

てゐたのが、日本軍が來たので

もとの集へ歸つて行くのであら

う。

馬賊へ歸つて行くのであら

う。